

以下、本文-----

脳卒中データバンクと多施設データベースを用いたくも膜下出血の研究：転帰予想と検証研究

1. 研究の対象

2000年1月～2019年12月に脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血を発症し当院に入院された方

2. 研究目的・方法

くも膜下出血の転帰の危険因子として、発症時神経所見、年齢、くも膜下出血の程度、動脈瘤の部位、大きさ、治療法などがありますが、それぞれの因子がどの程度転帰に関与するかは不明で可視化はされていません。

そこで、脳卒中データバンクデータおよび高知大学を含む多施設のくも膜下出血データベースを用いて、転帰不良の予測を可視化しその検証を行うことを目的とします。

研究期間は、当院倫理委員会承認日（2020年7月20日）より2026年12月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、発症様式、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子の配信もしくは郵送で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

井川 房夫	島根県立中央病院	脳神経外科	部長
日高 敏和	島根県立中央病院	脳神経外科	医長
桑原政志	島根県立中央病院	脳神経外科	医長
松田 真伍	島根県立中央病院	脳神経外科	医長
大園 伊織	島根県立中央病院	脳神経外科	医員
一原 直昭	東京大学大学院 医学系研究科 医療品質評価学講座		
特任助教	（統計解析担当）		
豊田 一則	国立循環器病センター	副院長	
塩川 芳昭	杏林大学医学部	脳神経外科	主任教授

反町 隆俊	東海大学 脳神経外科	教授
村山 雄一	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座	主任教授
栗田 浩樹	埼玉医科大学国際医療センター脳神経外科	教授
森田 明夫	日本医科大学 脳神経外科	主任教授
上羽 哲也	高知大学医学部 脳神経外科	教授
大熊 洋揮	弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科学講座	教授
中原 一郎	藤田医科大学医学部脳卒中科	教授
川俣 貴一	東京女子医科大学 脳神経外科学講座	講座主任
沈 正樹	倉敷中央病院 脳神経外科	主任部長

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1、TEL: 088-880-2397

本件担当者：高知大学脳神経外科 福田 仁

研究責任者：高知大学脳神経外科教授 上羽 哲也

研究代表者：島根県立中央病院 脳神経外科部長 井川 房夫

-----以上